

聞き手プロフィール

塩野米松さん

1947年秋田県角館に生まれる。芥川賞候補4回。聞き書きの名手で、失われゆく伝統文化・技術の記録を残すため人々の暮らしや職人の仕事を追って各地で聞き書きを続けている。また小説やエッセイ、絵本と幅広い執筆活動も行う。2003年『なつのいけ』で第8回日本絵本賞大賞を受賞。これまでの作家活動を讃え、国際天文連合より小惑星11987にYONEMATSUの名が授与された。

著書に法隆寺棟梁の西岡常一氏やその弟子に聞き書きした『木のいのち木のこころ一天・地・人』(新潮社)のほか、『手業に学べ』(筑摩書房)、『失われた手仕事の思想』(中央公論新社)、『おじいちゃんのちいさかったとき』(福音館書店)、『大黒柱に刻まれた家族の百年』(草思社)、『にっぽんの漁師』(筑摩書房)、『手業に学べ』(ちくま文庫)、『登頂 竹内洋岳』(筑摩書房)、『もやし屋一秋田今野商店の100年』(無明舎出版)など多数。



話し手プロフィール

徳田正人さん

日置市吹上町在住。1948年に鹿児島市に生まれる。1981年より日置市東市来町美山苗代川、鮫島佐太郎氏に師事。1985年、日置市吹上町に「松韻窯」を開く。吹上の土にこだわり、陶土から釉薬まで自分で作り、素材の可能性を引き出し、手仕事の温もりが伝わる器を生み出す。



佐々祐一さん

日置市東市来町在住。1976年に福岡県に生まれ、2歳から高校卒業まで神奈川県横浜市で過ごす。アメリカの大学を卒業後、経営コンサルティング会社などを経て、漁師になるため2015年に鹿児島県日置市に移住。若手の漁師仲間で「(株)吹上浜の未来を考える漁業者たち」を立ち上げ、ツキヒガイの資源確保のために研究を行うなどサステナブルな漁業をめざして活動している。

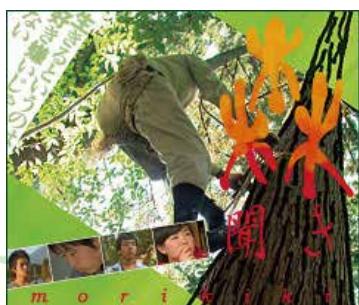


前田ゆりえさん

日置市日吉町在住。1960年大隅半島の大根占町に生まれる。鹿児島市で保育士、日置市で福祉施設の生活作業指導員として働く。「御菓子司 前田家」(1891年創業)4代目店主・晋作さんと結婚。晋作さんは洋菓子や食パンづくりを中心に、ゆりえさんは和菓子づくりを主に行っている。ゆりえさんの父方の生家も1913年から近年まで和菓子店を営んでいた。ひよしひまわりおはなし会などで、「読み聞かせ」などの読書活動にも永年取り組んでいる。



ドキュメンタリー映画「森聞き」



映画「ひめゆり」の柴田昌平監督第2作。
平成23年児童福祉文化賞受賞。

「聞き書き甲子園」に参加した4名の高校生と名人たちとのやりとりの一部を記録したドキュメンタリー映画。「聞き書き甲子園」は2002年に始まり、毎年約100名の高校生が森や山、海などに関わる名人に話を聞き、原稿にまとめるプロジェクト。



映画「森聞き」
公式サイトはこちらから